

# 河南町人口ビジョン（骨子案）

## I. 河南町人口ビジョンの策定にあたって

### 1. 河南町人口ビジョンの位置づけ

\* 国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を踏まえ、本町人口の分析を行い、人口減少問題に関する町民の認識の共有をめざすとともに、**今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す。**

\* 本ビジョンは、本町のこれまでの人口推移や人口動態推移等を基に、今後の本町の在り方を示すとともに、**河南町版総合戦略の基盤となるもの。**

### 2. 河南町人口ビジョンの対象期間

\* 国の長期ビジョンの期間に合わせて、**平成 72(2060)年までとする。**

### 3. 国の長期ビジョン

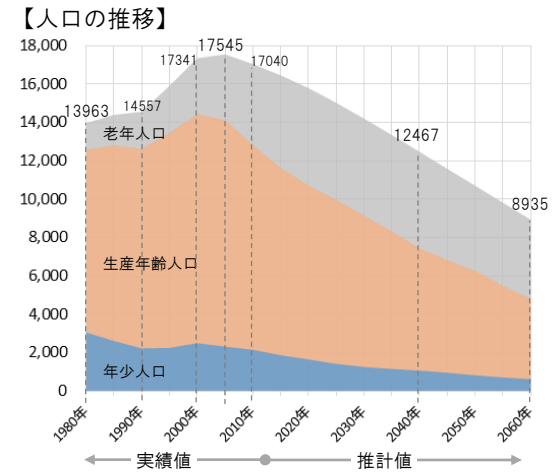
将来にわたって「活力ある日本社会」を維持

- 人口減少に歯止め  
(出生率が人口置換水準(2.07)に回復することが人口安定の必須条件)
- 若い世代の希望が実現すると、出生率は1.8程度に向上
- 人口減少に歯止めがかかると、2060年に1億人程度の人口が確保される  
(出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07になれば、2060年に1億人程度の人口が確保できる)

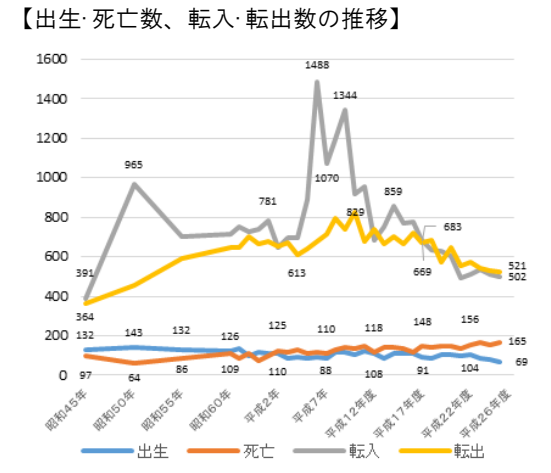
## II. 河南町の人口分析

### 1. 人口動向分析

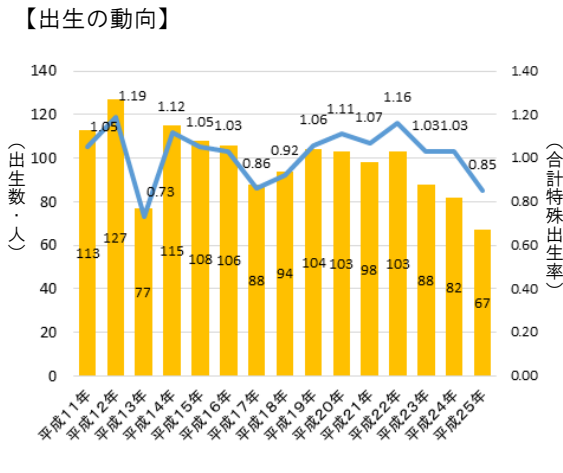
◎1970年代より人口は急増。平成17(2005)年の17,545人をピークに減少。



◎住宅開発に伴って急増。平成2(1990)年以降に自然減、平成20(2008)年以降に社会減。



◎出生数は平成22(2010)年までは100人前後で推移。平成23(2011)年以降急激に減少。



### 2. 将来人口の推計

◎社会保障・人口問題研究所の推計によると**平成52(2040)年には、ピーク時の7割、12,500人程度に減少、平成72(2060)年には、9,000人程度に減少。**

◎老年人口比率は、**平成52(2040)年には40.3%、平成72年(2060)年には46.2%。**

◎老年人口と生産年齢人口の比率が**平成52(2040)年には1:1.3、平成72(2060)年には1:1**となる。

### 3. 人口減少・人口構造変化が地域の将来に与える影響の考察

#### 【生活へ与える影響】

\* 空き家、耕作放棄地の増加により、治安面の不安増大や地域魅力の総合的低下

\* 少子化に伴う学校規模縮小。高齢化に伴う地域活動の担い手減少、一人暮らし高齢者や孤独死の増加

\* 路線バス等の地域交通の縮小により交通利便性が低下し、買物難民の発生も懸念

#### 【地域経済へ与える影響】

\* 生産年齢人口の減少に伴う活力低下、技術伝承が懸念

\* 人口減少による消費支出の減少や、人口構造変化に伴う消費スタイルや支出品目の変化

\* 店舗や売上の減少による地域経済の停滞。購買の選択性が減少し利便性の高い場所への流出も懸念

\* 地価下落等による不動産価値の低下や芸大生向けマンションの経営困難

#### 【町財政へ与える影響】

\* 個人住民税や固定資産税等の減少

\* 高齢化に伴う医療費・社会保障費用の増大。

\* 1人当りの負担増の懸念

\* 公共交通維持や代替手段の確保に関する費用増

\* 防犯、治安維持等の歳出増加

\* 公共施設の再編統合

## III. 河南町の人口の将来展望

### 1. 目指すべき将来の方向

<将来の基本方向>

検討中

<取組の方向性>

- ◇子育て・教育等の総合的な支援の充実により、子育て層の比率増と出生率の向上を促す
- ◇若い世代の就業の場を整え、芸大生の定着や若い世代の比率増を進める
- ◇暮らしやすさ、環境、仕事等の地域魅力を発信し、交流人口の増加を図り、新たなU・I・Jターンを促す

### 2. 将来展望のための仮定

### 3. 人口の将来展望

検討中